

本書の見方

- 社名横または下にある【 】の4ケタ数字は証券コード
- 日本企業の売上(●)・利益(●) (ないしは●)は、それぞれ原則として2016年3月期末、連結ベースの売上高、営業利益、経常利益、純利益などを表す。▲は赤字。16年3月期以外は●に決算期を明記
- は従業員数。●は原則、16年4月入社の大卒初任給。事務系本社勤務者の基準内賃金だが、営業職、総合職などの場合もある。●は従業員の平均年齢(単独)。データは原則、『日経会社情報2016夏号』に基づく
- 2期後(3期後)は直近本決算とQUICKコンセンサスの売上高を比較したもの。それぞれ2期後、3期後の予想数字との比較を示す(3月期決算会社なら16年3月期実績と18年3月期予想、19年3月期予想を比較)。30%以上の増収は「↑↑」、5%以上30%未満の増収は「↑」、5%未満の増収は「→」、5%以上30%未満の減収は「↓」、30%以上の減収は「↓↓」。QUICKコンセンサスは日経グループの金融情報会社QUICKが集計した、アナリストの業績予想の平均値。16年5月24日時点のもの
- 業界天気図は2017年度の業績見通し。その業界に属する日本企業の売上が、10%以上伸びるようなら「晴れ」、10%以上縮小するようなら「雨」、それ以外は「曇り」
- その他、注記のない図表・経営数字は、各企業に対する取材、日本経済新聞、日経産業新聞、日経MJ、日経ヴェリタス、日経会社情報による調査、および決算短信などによる
- 「74 新聞・テレビ」については、みずほ証券の岩佐慎介氏にご執筆いただいた

パナソニック [6752] 証券コード

頑丈で軽量のノートパソコンで法人から支持

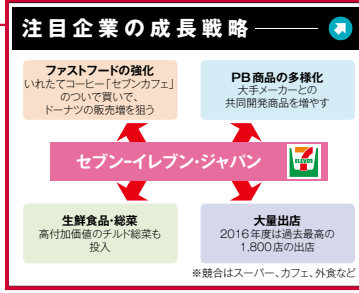
売7兆5,537億円 営4,157億円

2期後 → 3期後 → 従249,520名 従業員数と初任給と平均年齢

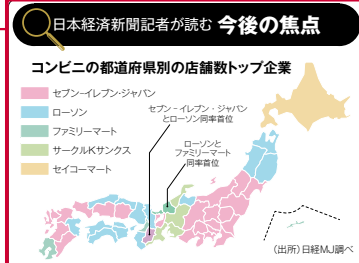
給210,000円(年)46歳(15年3月)

直近の売上高、利益
QUICKコンセンサスによる2期後、3期後の売上動向予想

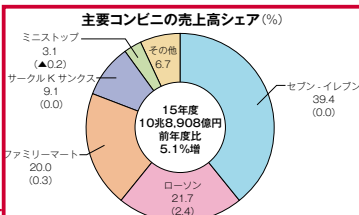
注目企業の成長戦略
M&Aや新商品投入、新分野開拓など積極的な成長戦略をとる注目企業を解説



日本経済新聞記者が読む今後の焦点
図表・グラフから業界を取り巻く環境変化やこれからの動きを探るためのヒントがつかめます。日経記者による詳細な解説も必見



データで見る業界
シェアやランキング、生産量・消費量など業界がさらによくわかるヴィジュアルデータも豊富に掲載



業界年表
年表形式で、業界の過去と今後の重要なイベント・できごとがわかります

コンビニエンスストア業界年表

2015年9月 ファミリーマートがユニバーサルを吸収

2016年4月 セブン&アイホールディングスの会長兼CEOの鈴木敏文氏が退任を表明

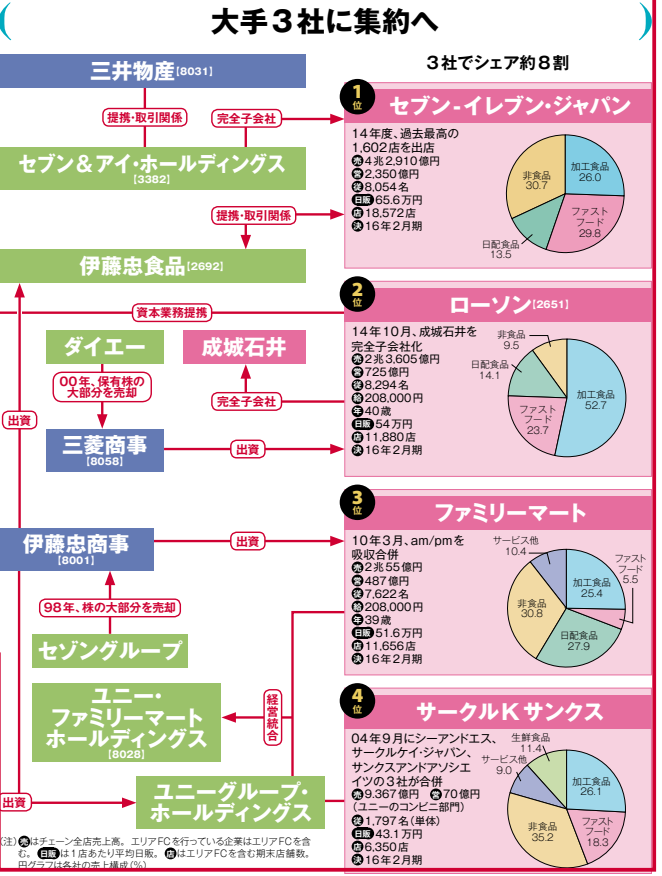
9月 ファミリーマートとユニバーサルホールディングスの統合会社「ユニバーサルホールディングス」が発足

キーワード
注目すべきキーワードをピックアップし、わかりやすく解説

キーワード 業界再編 大手の中堅チェーン取り込みが進み、コンビニ大手3社時代が目前に。

参考データ 日本フランチャイズチェーン協会(JFCA) ■東京都港区虎ノ門3-6-2 第二ビル山ビル ☎03-5777-8701(代) ■http://www.jfca.or.jp/

参考データ
業界団体や参考になる資料にアクセスできます



基礎知識
コンビニエンスストアは弁当やおにぎり、飲料などの食料品のほか、日用品雑貨などを扱う小売店。日本ではフランチャイズチェーン(F.C.)方式での24時間営業が主流となっている。定価販売が基本のため、SPA(プライベートブランド)商品との差別化を図る。SPAに比べて価格は割高だが、各社は食品部門と日用品部門の低価格のプライベートブランド(PB・自主企画)商品の開発に力を入れている

最近の動向
2015年度もコンビニ業界の市場規模は拡大を続けている。15年度は消費増税の影響も一服し、大手を中心に業績は堅調に推移した。店舗数は前年度比2.8%増の5万6,472店となった。16年9月にはファミリーマートと、サークルKサンクスを傘下に移すユニバーサルホールディングスが誕生した。ユニバーサルホールディングスは「ユニバーサルグループ」が誕生し、コンビニ最大の業界再編が実現する。ローソンも新たに中堅のスリーエフと資本業務提携を結んだ。一方、セブン-イレブンは「セブン」の父として同社を育ててきた鈴木敏文会長が名誉顧問に退くべく、業界を取り巻く環境は目まぐるしく変化している。

業界地図
業界の勢力関係、企業間の提携・出資関係などが一目でわかります。業績や初任給、平均年齢、2・3年先までの予想なども掲載

業界天気図
2017年度の業績見通しを晴れ、曇り、雨の3段階で表示

その業界に属する日本企業の売上が10%以上の伸び

10%未満の伸び~10%未満の縮小

10%以上縮小

業界規模
売上高や出荷量などでその業界の規模がわかります

ポイント
業界の最新トピック、全体の流れなどを明示。業界を見るうえでのポイントがわかります

基礎知識 最近の動向
日本経済新聞の記者が、業界の基礎知識と最新の動向を解説。大きな動きのあった主要企業の戦略もわかります

99 コンビニエンスストア

業界規模: 売上高: 10兆8,908億円(2015年度)

ポイント: 大手が中堅取り込み業界再編は最終局面へ